大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

イベント通知 取り組み

2026年7月23日

＼大阪で、量子技術は「研究テーマ」から「ビジネスチャンス」へ／

始動！QIQB×大阪府による 量子人材輩出拠点活性化事業「Quantum×Ignite」

―キックオフセミナーおよび一般向け展示イベントを開催―

【7/31(金)12:30～ 量子基礎解説・展示体験会・キックオフセミナー@グランフロント大阪】

❖ 概要

大阪大学 量子情報・量子生命研究センター(QIQB)は、大阪府が取り組む「量子人材輩出拠点活性化事業」(Quantum×Ignite)との連携のもと、量子技術に関連する産業の創出・集積を目指します。

本事業のコンセプトである「Quantum×Ignite(クオンタム バイ イグナイト)」が示す通り、量子技術を起点として多様な人材・技術・産業が交わり、新たな価値創出を加速させることを目的として、**7月31日(金)にグランフロント大阪**にて、本事業の**キックオフセミナー「Quantum×Ignite『なぜ、いま量子技術なのか ～産官学連携で拓く量子技術の活用・参入機会～』」**を開催します。また、7月20日(月)から10月31日(土)まで、一般向けの展示イベント「量子技術がひらく未来」もグランフロント大阪にて開催しています。



量子技術は、創薬、新材料開発、カーボンニュートラル、金融、機械学習など、社会が直面する多様な重要課題の解決に向けた鍵となる基盤技術であり、国の成長戦略においても最重要分野の一つに位置付けられています。本事業は、大阪・関西万博のレガシーや研究基盤、産業集積という強みを活かし、大阪・関西を量子技術の世界的産業拠点(クラスター)とすることをめざし、大阪府がQIQBと連携して実施するものです。

当日キックオフセミナーの開催前に、**取材いただけるメディアの皆さまを対象として、QIQB 教員による量子技術の基礎解説会**や、**展示イベントの体験会(撮影可)も実施**いたします。つきましては、本事業に関する積極的なご周知とイベント当日のご取材・出席をお願い申し上げます。

【熊ノ郷 淳 大阪大学総長のコメント】

世界的に注目を集めるとともに、政府が掲げる戦略分野にも位置づけられている量子技術の発展に向け、大阪府と大阪大学が連携し、量子関連産業の創出・集積を目指して実施するキックオフイベント「Quantum×Ignite」が開催されることを大変喜ばしく思います。また、本キックオフシンポジウムの開催にご協力いただく公益社団法人関西経済連合会、近畿経済産業局をはじめとする関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

大阪大学では、量子技術関連の研究を将来性の高い重要分野と位置付け、早い段階から全学的な育成・支援に取り組んでまいりました。その結果、QIQB は、大型国家プロジェクトへの参画や純国産量子コンピュータの開発などの成果を挙げ、世界をリードする研究拠点へと発展しています。今後は、研究者、学生、産業界、自治体などの方々が交流・共創する場となる研究拠点を整備し、研究成果の社会実装を大阪から世界へと展開してまいります。その具体的な取組として、本学の「サイエンスコモンズ構想」の量子技術分野を象徴する拠点を大阪の中心部である梅田に設け、この拠点を核として、大阪府ならびに関係の皆様と力を合わせ、大阪・関西地域全体を世界を代表する量子イノベーション拠点へと発展させる取組を推進してまいります。

【根来 誠 QIQB 副センター長・教授のコメント】
QIQB は量子技術や量子コンピュータにおける世界最大規模のアカデミア拠点として当該分野の研究・人材育成を強力に推進してきました。世界的に技術革新が加速する中、この歩みを今後より一層強化・拡充していくことが我々の重要な使命であると認識しています。
大阪・関西エリアには、量子技術との親和性が高く、その発展を支える高い技術力・研究力を有する企業が多数集積しています。「Continental Quantum City Prize – Asia(量子都市賞 大陸部門(アジア))」※1を受賞するなど、大阪は次世代の量子都市として世界的にも非常に大きな注目を集めています。
一方で、大学が持つ最先端の知と企業の実践力を結集し、継続的な交流を通じて新たな連携や事業を生み出していくための「場」が、これまで十分に整っていないことが課題と考えていました。
このたび、大阪府の力強いリーダーシップのもと、そのような場づくりが進められることに大きな期待を寄せています。QIQB としても、本取組の発展に向けて総力を挙げて協力していきたいと思います。

※ Quantum City Prize:World Quantum Day によって量子科学技術を都市の公共空間に届ける取り組みを表彰することを目的として実施された国際的な賞です。大阪大学量子情報・量子生命研究センター(QIQB)は、大阪を起点に展開してきた量子科学技術のアウトリーチ活動により、「Continental Quantum City Prize – Asia(量子都市賞 大陸部門(アジア))」を受賞しました。(2026 年 2 月 18 日プレスリリース)

❖ メディア向け 量子基礎解説会・「量子技術がひらく未来」展示体験会 について

※途中入場・途中退場可能です。途中参加される場合は、会場入口にて受付を済ませてからご入室ください。

※勉強会・展示体験会ともにご取材・撮影可能です。

※科学分野に限らず、社会・経済・府政などをご担当の記者の皆さまにも、ぜひご参加いただければ幸いです。

【日時】 2026 年 7 月 31 日(金)12:30 ～ 13:45(受付開始: 11:30)

【場所】 Osaka Innovation Hub(大阪イノベーションハブ)
(大阪市北区大深町 3 番 1 号 グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワーC 7 階)

【発表者】 大阪大学量子情報・量子生命研究センター(QIQB) 副センター長・教授 根来 誠

【申込方法】 QIQB 企画室<press_qiqb@ml.office.osaka-u.ac.jp>宛に、貴社名、代表者のお名前、連絡先、お越しいただく人数をご連絡ください。

＜スケジュール＞

■ 12:30~13:10 : 量子基礎解説会(スライド説明)

純国産量子コンピュータの稼働など、社会的な注目度が急激に高まる量子技術。大阪大学量子情報・量子生命研究センター(QIQB)の根来 誠 副センター長・教授が、複雑で難解な量子科学や量子コンピュータの基礎についてわかりやすく解説するメディア向け勉強会を開催します。日々の取材活動の一助としていただくとともに、報道を通じて広く一般の皆さまへ量子の魅力やニュースの核心を届けていただけるよう、最新のトピックを交えて丁寧にお伝えします。

■ 13:35~13:45 : 展示イベント「量子技術がひらく未来」体験会

本展示では、大阪・関西万博 企画展にて好評を博した純国産量子コンピュータの部品や関連技術の紹介に加え、様々なコンテンツを体験いただけます。当日は、QIQB の根来 誠 副センター長・教授が解説しながら展示内容をご紹介いたします。

量子や量子コンピュータについて説明するロボットなどが設置されるほか、量子コンピュータを使って制作されたアートとその解説コーナー、純国産量子コンピュータの部品などが展示されます。大阪大学にある量子コンピュータのプログラミングを体験できるアプリケーション操作(7/31 の体験会では限定的に、大阪大学の量子コンピュータ実機に接続いたします)

や、ブロックを入れ換えて消す量子アクションパズルゲーム「QA²」も体験できます。ブロックを消すルールは量子コンピュータの理論に基づくもので、プレイしながら感覚的にその理論の基本を学ぶことができます。

❖ **キックオフセミナー「Quantum×Ignite『なぜ、いま量子技術なのか～産官学連携で拓く量子技術の活用・参入機会～』」について**

※14:00 開始のキックオフセミナーからのご取材も可能です。会場入口にて受付をお願いします。（当日参加可）

【日時】2026 年 **7 月 31 日(金) 14:00 ～ 16:00**（予定）

【場所】**ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター**

（大阪市北区大深町 3 番 1 号 グランフロント大阪 北館 B2 階）

【定員】150 名(先着順) ※定員に達したため、一般申込は締め切りました。

【参加費】無料

【対象者】企業の方、大学・研究機関の方、金融機関や支援機関の方等

【登壇者】(内容・登壇者は変更する場合があります。)

- 開会挨拶：大阪府 東口勝宏商工労働部長、大阪大学 熊ノ郷淳総長、近畿経済産業局 武田家明局長
- **基調講演：量子分野に関する国の戦略について**
  原 克彦 氏(内閣府 科学技術イノベーション推進事務局 審議官)※ 変更の可能性あり
- **パネルディスカッション：大阪での量子ビジネス創出の可能性と大阪・関西での取組み利点**
  根来 誠 氏(大阪大学量子情報・量子生命研究センター 副センター長・教授)
  澤田 拓子 氏(公益社団法人関西経済連合会 副会長、塩野義製薬株式会社 副会長)
  松岡 智代 氏(株式会社 QunaSys COO)
  ＜ファシリテータ＞
  寺部 雅能 氏(デロイトトーマツグループ 量子技術統括)
  ※パネルディスカッション終了後、ネットワーキング(交流会)を実施します。

【イベント詳細ページ】

URL：https://quantum-x-ignite.com/events/20260731/

【主催・共催】

主催：大阪府(運営：公益財団法人大阪産業局)

共催：大阪大学、公益社団法人関西経済連合会、近畿経済産業局

❖ **展示イベント「量子技術がひらく未来」について**

【期間】2026 年 **7 月 20 日(月)～ 10 月 31 日(土)**

※但し、8 月 20 日(木)から 24 日(月)は展示を休止します。

【時間】10:00 ～ 21:00

※但し、変更になる場合がありますので、お越しになる前に The Lab.の営業時間をご確認ください。

【場所】**The Lab.みんなで世界一研究所**

(大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル 3 階)



The Lab. での展示の様子

【入場料】 無料（予約は不要です）

【対象者】 小中高生、大学生、一般の方

【イベント詳細ページ】

URL：https://kc-i.jp/facilities/the-lab/active-lab/osaka/

※ 期間中に、QIQB の研究者による説明会の開催も予定しております。日時が決定しましたら、下記「『量子技術がひらく未来』の展示開催について」Web ページにてお知らせします。

URL：https://www.pref.osaka.lg.jp/moyo/o110020/000017.html

❖ 背景

大阪大学 QIQB は、量子コンピュータを構成するハードウェアから、ミドルウェア、ソフトウェアに至るあらゆる階層において国際的にも最先端の研究・開発を先導しています。さらに、量子科学技術の最前線を切り拓く中核機関として高度な学術的知見を基盤とし、将来の学術界および産業界を牽引する、卓越した専門性を備えた次世代リーダーの育成を推進しています。

量子技術の社会実装を具現化し、イノベーションを加速させるためには、アカデミアにおける先導的な基礎研究の推進にとどまらず、その高度な知見を産業価値へと昇華させる産業界の実践力、そしてそれらを一体となって推進する行政との強固な連携体制が不可欠です。さらに、世界規模で高度な量子人材の獲得競争が激化する中、「量子ネイティブ世代」の早期発掘・育成・輩出は、本学をはじめとするアカデミアに課せられた喫緊の重要課題と考えています。

2025 年夏に大阪・関西万博にて披露された大阪大学の「純国産」量子コンピュータは、日本の高い技術力を国内外に実証した象徴的な契機となりました。この最先端の技術を、一部の専門家のみならず、広く一般市民や産業界の方々に身近に感じていただくことが求められています。とりわけ、小中高生をはじめとする若い世代が量子技術・量子コンピュータに興味を持ってもらえるような機会を提供することは、次世代の量子技術を担う人材を育成する上で極めて重要です。以上のためには、量子の世界を直感的に体感し、深い理解へとつなげる機会を社会全体へと広げていくことが、今まさに必要とされています。

❖ 社会的意義

本事業は、産官学の垣根を越えた強固なエコシステムを構築し、社会全体の機運を醸成するための重要な布石となります。

キックオフセミナーでは、各分野の第一線で活躍を続けるトップランナーが一堂に会します。企業や研究機関などに対し、量子ビジネスへの参入機会や、大阪・関西エリアの産業界が持つポテンシャルを広く発信することで、大阪が全国ひいては世界を代表する量子拠点として、今後さらに発展を遂げる量子産業の中心地となるべく、地域全体を巻き込んだ社会の機運を醸成してまいります。

また、**展示イベント**においては、大阪・関西万博にて公開された純国産量子コンピュータの実部品や関連技術の紹介に加え、量子コンピュータのプログラミング体験、量子ゲームなど多様なコンテンツを通じて、楽しみながら量子科学を学ぶことができる場を提供します。これらの取り組みは、次代のイノベーションを担う若手人材の発掘・育成を促進するとともに、異分野のアイデアや技術の融合による新たなスタートアップ企業の創出を促し、大阪発量子産業の可能性を広げていくためのショーケースとしての役割を果たすことを期待しています。